

温室効果ガス排出状況報告書

平成26年 7月30日

宮崎県知事 殿

住所 宮崎市大字小松1119番地
一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団

代表理事 大野和男



氏名
法人にあっては、その主たる事業所の
所在地並びに名称及び代表者の氏名

みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例第6条の2の規定により、次のとおり提出します。

連絡先	担当部署名	本部事務局業務部	
	住所	(〒880-2112) 宮崎市大字小松1119番地	
	担当者氏名	古沢 賢二郎	
	電話番号	0985-47-3744	
	FAX番号	0985-47-5202	
先	メールアドレス	k.furusawa@junwakai.com	
前年度の状況	前年度のエネルギー使用量（原油換算）	1,946 kl	
	前年度のエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量 （排出量が3,000t（CO ₂ 換算）を超えるものののみ記入）		
		()	t-CO ₂
		()	t-CO ₂
	前年度末の車両台数		
	☐ トラック	台	
	☐ バス	台	
	☐ タクシー	台	

(別紙)

報告対象年度	25年度								
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	宮崎市大字小松1119番地								
氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団 代表理事 大野 和男								
主たる業種	83 医療業								
事業概要	病院								
事業者の区分	☒ みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第1号に該当する特定事業者 ☐ 同規則第9条第2号に該当する特定事業者 ☐ 同規則第9条第3号に該当する特定事業者 ☐ 同規則第9条第4号に該当する特定事業者 ☐ 特定事業者以外の者								
温室効果ガス排出の状況等	年度区分	基準年 度(24) 年度	前年度 (25) 年度	計画期間					目標
				(25) 年度	() 年度	() 年度	() 年度	() 年度	(25) 年度
	①総排出量 (t-CO ₂)	3,712 t-CO ₂	4,422 t-CO ₂	4,422 t-CO ₂					3,675 t-CO ₂
	②原単位排出量 (t-CO ₂)								
	補完的手段による削減量 (t-CO ₂)	森林の整備及び保全							
		再生可能エネルギーを利用した熱又は電力の供給							
		グリーン電力証書又はグリーン熱証書の購入							
		その他知事が適当と認めるもの							
	③合計			0 t-CO ₂					
	(①又は②) - ③ 差引後排出量 (t-CO ₂)			4,422 t-CO ₂					
増減率 (基準年度比)									
☒ 総排出量 ☐ 原単位			19.1%	%	%	%	%	-1.0 %	
その他温室効果ガス排出削減に資する取組	平成25年度は、病棟改修工事に伴う職員食堂新築工事（延床面積228㎡・平屋）の電気使用面積の増加と、夏季の気温上昇に伴う空調負荷増大により、削減計画と乖離し大幅に増加した。具体的な設備更新対策については、同病棟工事において対象の2病棟の廊下や食堂談話室などにLED照明器具をつけて省エネ対策を施した（平成26年2月末竣工）								
特記事項	電気事業者の排出係数増加に伴う影響度481t-CO ₂ （増減率のうち12.9%相当）								

- 備考
- 1 計画書において原単位による目標を設定した場合は、「①総排出量」に加え「②原単位排出量」を記入するとともに、「増減率（基準年度比）」には原単位の値を記入すること。
 - 2 「温室効果ガス排出の状況等」を算定する際に用いる電力事業者等から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の排出係数（以下「係数」という。）は、実態に即した係数を把握できる場合を除き、毎年度国が公表する係数を用いること。なお、提出者が温室効果ガス排出削減に向けた取組を実施しているにもかかわらず、係数が増加したことに伴い温室効果ガス排出量が増加する場合は、基準年度に使用した係数を用いて算定した排出量を括弧書により二段書することができる。